

2021 年度国民健康保険料問題

要望にまともに答えない亀岡市

亀岡社保協は、亀岡市が京都府への納付金が大幅に減額されたにもかかわらず、2021 年度の国民健康保険料を昨年に比べて約 0.8%、820 円引き上げとする試算を行ったことに対して 4 点にわたって要望書を提出しました。

亀岡市は文書で回答を行いましたが、4 点にわたる要望についてまともに答えない極めて不誠実なものとなっています。ここに亀岡社保協の 4 点の要望と亀岡市の回答（原文のまま）を掲載し、市民の要望にまともに答えようとする亀岡市の不誠実な対応を明らかにするものです。

| 緊急要望項目 | 亀岡市の文書回答（原文のまま） |
|---|--|
| 1. 令和 3 年度の京都府への納付金が減額されるなか、京都府のいくつかの自治体では保険料を減額する方向を明らかにしているにもかかわらず、なぜ亀岡市は保険料を据え置く方向なのか明らかにされたい。 | 1 2 3 4. 京都府への納付金は減額となりましたが、京都府が公表する令和 3 年度の亀岡市の標準保険料率をもとに、新型コロナウイルスの影響や税制改正による所得減を考慮しながら試算をいたしますと、令和 2 年度と比べて 1 人あたりの保険料は約 0.8%、820 円増加する見込みになっております。しかし、保険料の上昇は被保険者への負担がますますことから、国民健康保険財政調整基金を活用した緩和措置を行い、保険料据え置きを予定しております。 今後におきましても、安心して医療が受けられるよう、生活習慣病等の予防や後発薬品の普及など、医療費の適正化や保険料収納率の向上に取り組み、健全な事業運営が行える適正な保険料率を決定してまいります。 |
| 2. 令和 3 年度保険料が増額となった試算は、どのように行われたのか明らかにされたい。 | |
| 3. 保険料が増額となる試算を見直し、2021 年度保険料を減額されたい。 | |
| 4. 令和 3 年度の保険料収入が見込みより多かった場合には、令和 4 年度の保険料の減額を行うこと。 | |

亀岡市の回答では、2021 年度京都府への市納付金が前年度から 4.7%、1 億 267 万円の減額、市民一人当たりでは 4.8%、5,551 円の減額という大幅な減額であるにもかかわらず、亀岡市の試算で保険料が増額になることを説明することになっていません。

亀岡市の標準保険料率が何%なのか、新型コロナウイルスの影響と税制改正による所得減をいくらかと試算したのかを明らかにしなければ、2021 年度保険料の増額を説明することになりません。

社保協との懇談に応じ、納得できる説明を！

亀岡市は、社保協の懇談の申し入れに対しコロナ禍を理由に拒否しています。緊急事態宣言が解除されたら直ちに懇談に応じ、2021 年度国民健康保険料について市民が納得できる誠実で丁寧な説明を行うよう強く求めるものです。

生活なんでも相談会

- 日 時：7 月 24 日（土）午後 1 時～4 時
- 会 場：亀岡教育会館 3 階会議室
- 共 催：亀岡市社会保障推進協議会
亀岡生活と健康を守る会